

東海労 関西	2017年 3月25日 第762号	JR東海労新幹線関西地方本部 http://www.geocities.jp/jrcu_kansai/ 発行責任者 小林 國博 編集責任者 島津 カ
---------------	-------------------------	---

多数の社員が年休を失効！？会社の努力義務放棄を許すな！

今年度も残すところ僅かになりました。このままいけば3月末で多くの社員の年休が失効します。この責任は会社にあります。会社は年休を出すために「精いっぱい努力した」などと言っていますが、それは嘘であり誤魔化しです。

こうすれば年休は消化できる！！

各人の特休、公休 予定日を年休にすれば年休は消化されます。

そして、労働予定日を公休と特休に振り替えて、休日勤務をしてもらえればいいのです。それがわかっていて会社はやらないのです。なぜなら、金がかかるからです。まさに「時季変更権」の乱用です。

あなたの年休は1日いくらか知っていますか？！

若い人でも1日1万円位にはなるはずです。従って年休を1日失効するだけで、その年度のベースアップ額くらいは損失してしまうことになります。会社は「年休が完全付与されなくても保存休暇があるから大丈夫」と言って誤魔化しますが、会社のいう嘘に騙されてはいけません。保存休暇は年休のように自由には使えません。

年休の失効は努力義務を果たさない会社の責任だ！！

会社には年休をしっかり付与しなければならない義務があります。

私たちには年休を時季指定して取得する権利があるのです。

一人の権利放棄は全体の権利損失へと繋がりがねません。私たちは会社に誤魔化されずに騙されずに、しっかりと年休を請求していかなければなりません。

JR東海会社をブラック企業にしないために、年休の本質を理解して責任を持った行動をしていきましょう！